



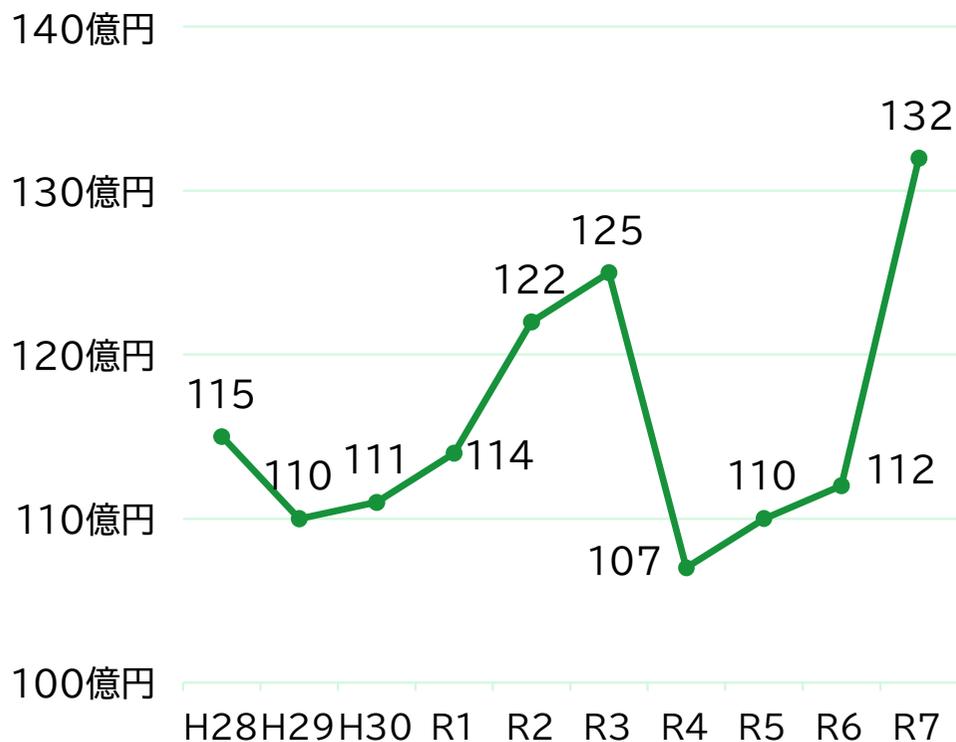
京丹波町 令和7年度 当初予算の概要

京丹波町総務部財政課

一般会計 (※過去最大の予算規模)

132億2,000万円

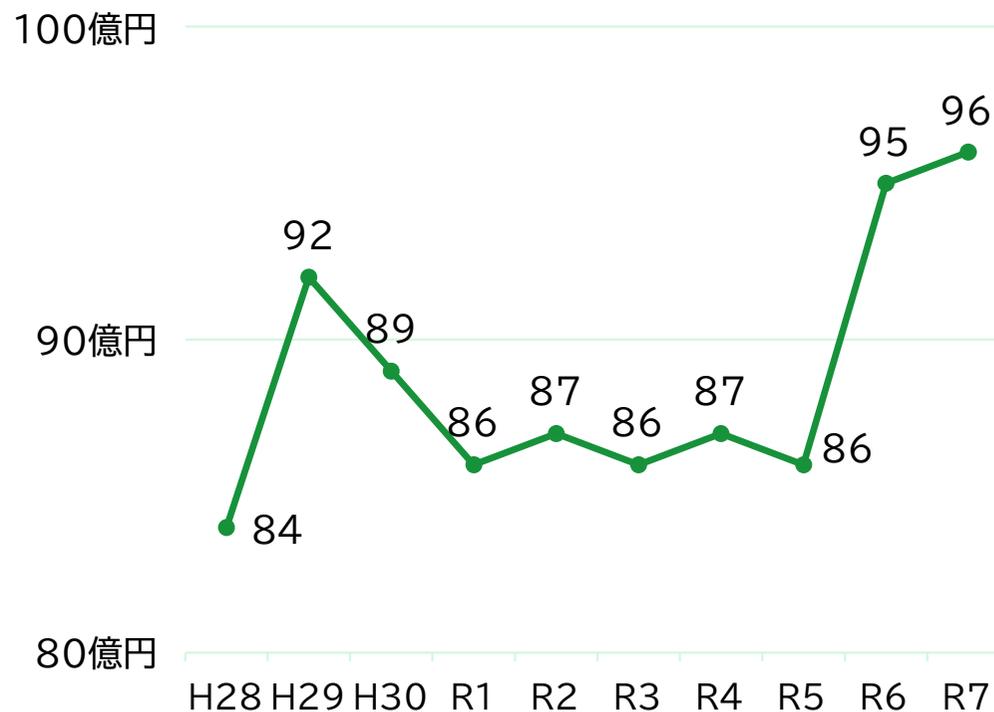
(前年度比 +19億8,700万円 +17.7%)



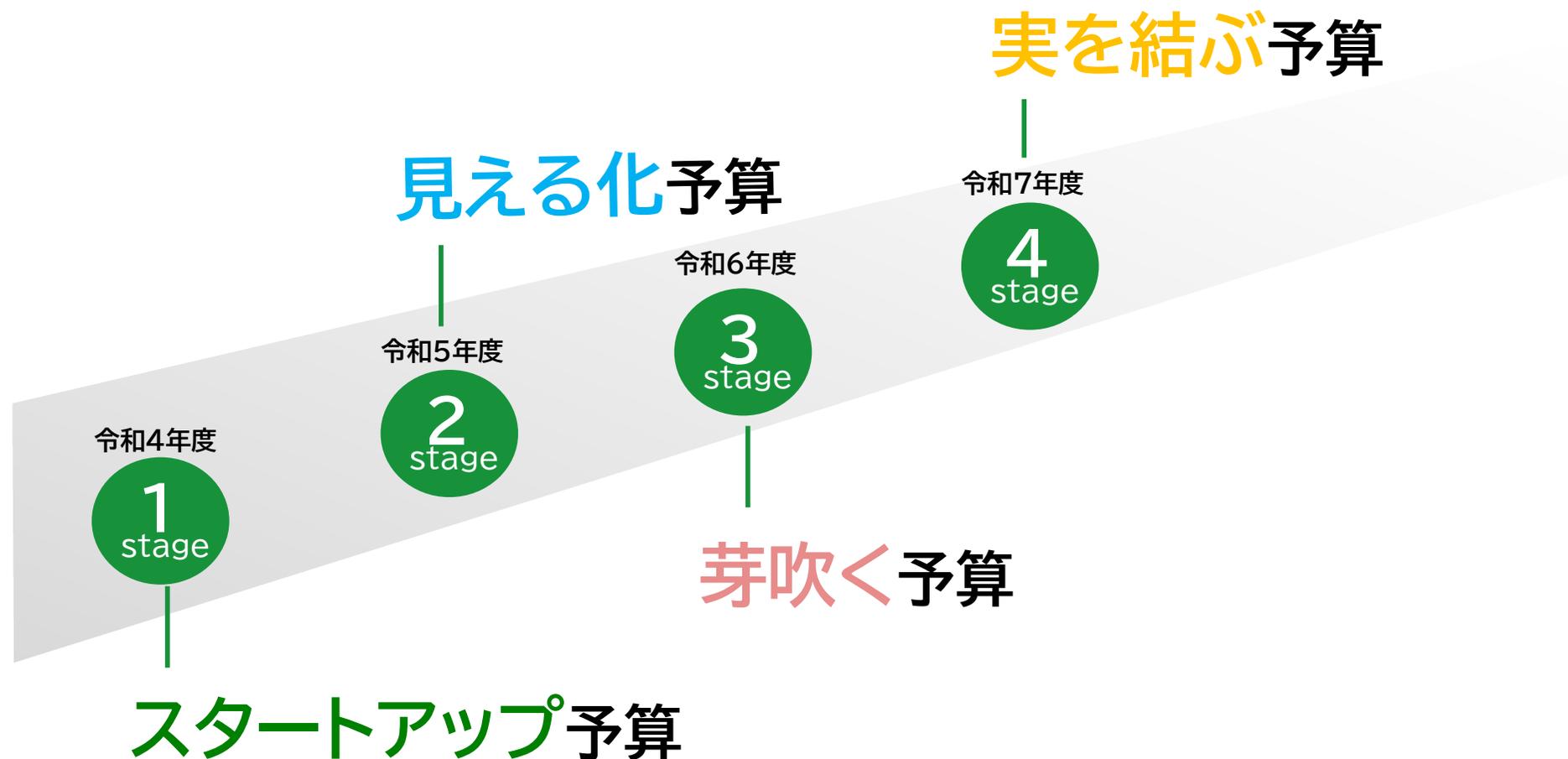
特別会計・公営企業会計

96億3,569万9千円

(前年度比 +1億3,394万6千円 +1.4%)



「みんなで元気・希望・笑顔のあふれる 京丹波町に」の実現に向けて、デザイン思考を導入して町民ニーズに応じた事業立案を行うなど、種をまいてまいりました。令和7年度は、いよいよ「実を結ぶ」年度として、京丹波町の更なる成長に向けて、より一層充実した取組を進めてまいります。



令和7年度当初予算編成方針

「みんなで元気・希望・笑顔のあふれる 京丹波町に」の推進



健やかで幸せな食の町



教育と子育ての町



人のふれあいを感じる町

令和7年度主要事業について

【目次】

健やかで幸せな食の町…P5

教育と子育ての町…P13

人のふれあいを感じる町…P22

物価高への対応…P33

財政健全化の推進…P34

健やかで幸せな食の町

「人生100年。健幸のまちづくり～生涯を通じて「こころ」と「からだ」を健幸に～」を基本方針として、町民の皆様が生きがいと誇りを持ち、生涯を通じて健やかで幸せに暮らすことができる「健幸」のまちづくりを推進します。

フードバレー推進事業

予算額 14,898千円
(前年度予算額 2,418千円)

新

京丹波フードバレー推進事業費補助金

4,000千円

本町の食の高付加価値化等を進めるため、町内の特産物等を生かした商品の開発等に必要となる経費の一部を補助します。

- 対象者 : フードバレー京丹波推進協議会に加盟する事業者
- 補助上限: コラボ商品開発支援事業 50万円、産学連携事業 25万円



拡

食の魅力発信・付加価値の向上に関する取組

2,243千円

WEBによる食の魅力発信や料理人による食の掘り起こし、食品加工の幅を広げる取組を実施します。

- フードバレー京丹波推進協議会のホームページ作成
- 産地視察ツアー・加工セミナーの実施

フードバレー農場による人材育成

8,655千円

食と農の分野で活躍できる人財を地域おこし協力隊として採用し、新規就農や農業従事者等として育成し、定着を支援します。

- 採用人数: 2名(予定)
- 座学研修や実地研修、実践農場の農地整備から生産管理等を3年間学ぶ。



京丹波栗リファイン事業

予算額 10,798千円
(前年度予算額 10,197千円)

京丹波栗の価値創出・価値向上に係る取組

5,489千円

京丹波栗の価値創出・価値向上に係る各種取り組みを実施します。

- 大阪・関西万博で「京丹波栗」プロモーションの実施。
- ホテルや飲食店と連携して、京丹波栗のプロモーションを実施。
- 生産者、加工業者、飲食店が栗産業について考え、目線を合わせる場「京丹波栗シンポジウム」を実施。
- 栗産業全体の理解や裾野を広げるため、教育機関に定期的にパティスリーシェフが訪問。
→栗を使ったスイーツ作りの授業を行い、学生の商品開発の支援を行うなど、幼少期からの京丹波栗に触れる機会を創出する。
- 10月に全国モンブラン大会を開催。全国各地の栗産地が一堂に会し、栗産業全体の活性化に繋げる。



丹波くり振興事業

予算額 21,313千円
(前年度予算額 29,806千円)

丹波くり振興事業補助金

20,029千円

丹波くりの生産に関する様々な取組を支援します。

【主な補助制度】

新

- 丹波くり病害虫対策支援事業補助金(3,000千円)
病害虫対策のために行う防蛾灯の設置に要する経費を補助
<補助率> 1/2(上限100万円)
- 丹波くり苗木支援事業(550千円)
栗苗木を購入する経費を補助 <補助率> 1/2
- 丹波くり新植・改植事業
栗園新植、改植に係る経費を補助 <補助率> 1/2(上限100万円)
<実施項目> ①苗木の購入 ②植栽の委託 ③整地、土壌改良 ④有害鳥獣防護柵の設置 ⑤排水対策
- 丹波くり凍害対策支援事業
凍害対策に係る資材、委託料、リース料の経費を補助 <補助率> 1/3
- 丹波くり栽培機材等支援事業
丹波くり栽培に係る機材導入経費を補助 <補助率> 1/2(上限300万円)
<対象機械> 高湿恒温庫、鬼皮むき機、電動剪定鋏、草刈機 等



その他健康診査事業

予算額 39,788千円
(前年度予算額 40,781千円)

新

がん患者アピアランスケア支援

480千円

がん患者の心理的、経済的負担の軽減を図り、療養生活の質の向上を支援することを目的に、がん治療に起因する外見の変化の苦痛を和らげる補整具の購入費用を助成します。

【事業内容】

- 内容 :がん治療に起因する脱毛、又は乳房を切除に伴う医療用ウィッグや乳房補整具の購入
- 対象者:がんと診断(がんの疑いを含む)され、その治療中又は過去にがん治療を受けた者
- 助成額:購入費用の1/2
(上限額)
 - 1、ウィッグ等 30千円
 - 2、乳房補整具 ①補整下着 20千円 ②人工乳房 50千円 (①②のいずれか)
- 年齢制限:なし

予防接種事業

予算額 47,030千円
(前年度予算額 29,908千円)

新

带状疱疹ワクチン定期接種

7,131千円

带状疱疹が予防接種法のB類疾病に位置づけられることによる定期接種を実施します。

●対象者:京丹波町に住民登録があり、以下の①・②・③に当てはまる接種希望者

①65歳の者(年度年齢)

②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能の障害を有する者

③65歳を超える方については経過措置あり

(令和7年度から5年間):70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の5歳年齢ごとが対象。(年度年齢)

初年度のみ101歳以上は全員対象

●開始時期:令和7年4月1日

●ワクチンの接種方法・間隔:

①生ワクチン 1回0.5mlを皮下接種

②組換えワクチン 1回0.5mlを2か月以上6か月に至った日の翌日までの間隔で2回筋肉内接種

●標準的接種費用:①生ワクチン 8,860円

②組換えワクチン 44,120円(22,060円×2回)

●自己負担金:①4,000円 ② 20,000円(10,000円×2回)

*生活保護受給者は自己負担なし

保健センター管理事業

予算額 66,592千円
(前年度予算額 41,578千円)

新

瑞穂保健福祉センター空調設備改修工事

53,000千円

瑞穂保健福祉センター2階空調設備改修工事を実施します。

<計画>

- 改修場所: プレイルーム、地域活動支援センターさんぽ、ボランティアルーム、社協総務課、集団指導室、会議室、介護研修室、和室等
- 着工: 令和7年6月
- 完成: 令和7年度末予定
- 1階部分は令和6年度に事業実施済



畑川ダム周辺整備事業

予算額 18,430千円
(前年度予算額 2,540千円)

新

畑川ダム周辺の整備

17,820千円

畑川ダム湖畔と修景、特に「食の宝庫・京丹波町」を代表する『丹波くり』を生かした農業交流空間の整備に向けて、基本計画等を策定します。

<計画>

- コンセプト:地域住民の交流と地域振興の拠点づくり「里山の恵みと季節の彩を感じ、味わう」
- 整備面積 :約20,000㎡を想定
- 実施内容 :畑川ダム周辺整備事業基本計画策定業務、民間活力導入可能性調査業務

教育と子育ての町

京丹波町の子どもたちが健やかに成長できるよう、
「まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり」を基本理念に、
教育への積極的な投資を行い、「京丹波町の良さを生かした、
京丹波町ならではの教育の推進」に取り組めます。

こども園運営事業

予算額 27,500千円
(前年度予算額 16,249千円)

新

保育ICT化(保育支援システムの導入)

11,518千円

保護者の利便性向上とこども園の業務効率化による保育の質の向上を図るため、認定こども園3か所にICTを活用したシステムを導入します。

- 概要: 登降園管理、園児情報、健康診断記録、帳票管理、シフト管理、写真共有・販売、連絡帳、保護者への緊急連絡など園業務をデジタル化するもの
- 効果: 職員の業務時間が削減できるとともに、保護者とのコミュニケーションツールとして活用
- 主な経費: 保育ICTシステム導入に係るシステム利用料、ハードウェア・ソフトウェア環境整備費、タブレット等備品購入費用 等



新

京丹波町立認定こども園インターンシップの実施

525千円

保育教諭を目指す大学生等を対象に、認定こども園における就業体験の機会を与えることにより、就業意識の向上及び町政に対する理解を深めることを目的として、保育インターンを実施します。

- 処遇: 受入した学生の身分は、京丹波町職員(会計年度任用職員)とし、給与等を支給する。
- 受入れ園: たんばこども園、みずほこども園、わちこども園
- 雇用人数: 3名(予定)
- 期間: 最大30日間



放課後児童健全育成事業

予算額 120,180千円
(前年度予算額 18,934千円)

拡 放課後児童クラブの安定的な運営体制の確保

41,400千円

保護者の就労等により放課後に保育を必要とする児童に対し、利用希望者が増加する中でも、安定かつ持続可能な運営体制を確保するため、ノウハウを持つ民間業者に運営を委託し、放課後児童クラブを運営します。

- 実施箇所:4か所
- 民間委託による効果:預かり時間の延長、学校休業中の昼食提供、レクリエーション体験など

新 放課後児童クラブ「のびのび2組」の整備

71,720千円

老朽化が課題であった瑞穂地区の放課後児童クラブ「のびのび2組」を、瑞穂小学校体育館に隣接した用地に整備します。

●背景:放課後児童クラブ「のびのび2組」は、現在、平成23年に閉所した旧松山保育所(昭和51年開所)を放課後児童クラブの施設として活用。

<計画>

- 建築物の構造、面積:木造平屋 150㎡
- 定員:60人
- 着工:令和7年6月予定
- 完成:令和8年3月予定



小学校一般管理事業

予算額 73,898千円
(前年度予算額 78,042千円)

新

小学校体育館移動式空調機器の導入

13,924千円

気温が上昇する時期での授業や学習発表会など体育館の利用時の熱中症対策のため、各小学校体育館に大風量移動式スポットエアコンを導入します。

<計画>

- 町内5か所の小学校体育館に各校1台
- 導入時期:令和7年夏頃を予定

中学校一般管理事業

予算額 108,126千円
(前年度予算額 55,244千円)

新

蒲生野中学校体育館空調設備の整備

75,385千円

丹波地区の大規模避難所である蒲生野中学校体育館に冷暖房設備を整備します。

<計画>

- 種類:ガスヒートポンプエアコン ●体育館面積:948㎡
- 附属工事:断熱工事
- 着工:令和7年6月予定 ●完成:令和7年10月予定
- 効果:ガスヒートポンプエアコンによる冷暖房設備は、災害発生時の停電に備え、少量ながら電力の発電も行うことや、ボンベ保管庫を活用した災害時の炊き出しの実施も可能となる。

学校給食事業

予算額 99,617千円
(前年度予算額 99,433千円)

「安心安全な学校給食」オーガニック食材の活用促進

54,382千円

安心安全な学校給食を提供するため、オーガニック食材の活用を進めます。

新

- 令和7年産新米から町内産の特別栽培米(化学肥料、化学合成農薬を慣行の50%削減したコメ)を使った米飯給食を提供。
- 町内の特別栽培米の生産者と小学校との食に関する体験学習の実施。
- 食を通じた地域、須知高校食品科学科、石井食品(株)京丹波工場、十文字学園女子大学との交流・連携によるメニュー開発を実施。



人材育成による持続可能な町づくり事業

予算額 17,351千円
(前年度予算額 0千円)



京丹波町教育魅力化事業

15,851千円

本町の担い手を育成するため、本町唯一の高校である京都府立須知高等学校の魅力化に必要な支援や取組を進めます。

<事業内容>

- 須知高校の魅力化に向けた検討
魅力化に向けた検討会等のコーディネート、魅力化のビジョン(目標)の策定
- 魅力化コーディネーターに係る経費
魅力化コーディネーターの選定、魅力化コーディネータの育成等
- 生徒の増加に向けた取組
魅力化と連携したPRや募集等の推進費用



須知高校教育振興対策交付金

1,500千円

京都府立須知高等学校の教育振興対策の推進を図るため、須知高校教育活性化推進協議会の運営等に要する経費に対し支援を行います。

- 目的:京丹波町における須知高校教育振興対策交付金を交付し、もってまちづくりに有用な人材の育成及び確保を目指す。

社寺等文化資料保全補助事業

予算額 6,351千円
(前年度予算額 2,970千円)

文化財保存に対する補助金

2,901千円

文化資料保存施設や設備、美術工芸品や建造物等の文化資料の補修、民俗文化資料や遺跡名勝天然記念物の保全等を行います。

<計画>

●美術工芸品3点、建造物2点に対する補助を予定。

●渡邊家住宅の茅葺屋根葺き替えプロジェクト

国の重要文化財に指定されている渡邊家住宅は屋根の傷みが深刻な状況であり、令和7年度、令和8年度の2か年をかけて葺き替えを行う予定。

令和6年度に実施したガバメントクラウドファンディングによる寄附金を活用するとともに、一部を基金に積立、次年度以降の事業に活用予定。

指定文化財管理事業

予算額 2,787千円
(前年度予算額 1,576千円)

新

下粟野観音堂北面屋根の修繕

1,300千円

町が管理する国指定文化財である下粟野観音堂の屋根を改修します。

<施設概要>

下粟野観音堂は、建立された時代の判明している村堂としては丹波地方で最も大きく、古い建造物(文明年間1469年~1487年)として、平成7年12月に国指定重要文化財に指定された。本尊の木造観音立像は、平安時代後期作の一本造りで、聖徳太子が自刻した観音菩薩のうちの一休であるといわれている。

<計画>

- 夏頃に完了予定



外観



内部

「地域の宝」(人材・文化財等)調査活用推進事業

予算額 1,772千円
(前年度予算額 2,618千円)

新

京丹波山城ガイドブックの作成

220千円

京丹波町を代表する山城のガイドブックを作成します。

- 山城の見どころや登城するための登山道、周辺のお店等の情報を紹介。
- 京丹波町観光協会等と連携した山城ツアーの開発等を進める。



人のふれあいを感じる町

京丹波町の魅力を広めるため、タウンプロモーションキーワード「GO GREEN GREEN」を掛け声に、町内外に情報発信を行い、つながりの輪を広げます。

グリーンランドみずほ管理運営事業

予算額 701,087千円
(前年度予算額 49,663千円)

新

道の駅「瑞穂の里・さらびき」の再整備

679,974千円

他の道の駅との差別化、消費者ニーズの多様化、京都縦貫道の開通といった状況の変化に対応するため、道の駅「瑞穂の里・さらびき」の再整備工事を実施します。

<計画>

- 建築物の構造、面積：木造、既存棟446.48㎡の改築および延べ269.87㎡の新築棟の建設
- 令和7年度中の完成を目指す。
- 観光や防災などの更なる地方創生に向けた取り組みを加速させ、持続可能な地域振興拠点を目指す。



西面(夜)



西面(昼)



内観(新築棟)

持続可能で豊かな地域創造事業

予算額 59,063千円
(前年度予算額 68,077千円)



デジタル地域通貨の運用

43,160千円

デジタル技術の導入による町民と関係人口に対する総合的なサービスの向上を進めるため、デジタル地域通貨を運用します。

●効果

デジタル地域通貨を運用し、連帯・信頼・協働を育み、相互扶助と域内の消費を促進するとともに、新たな地域経済循環の仕組みによる経済効果も生み出す。また、令和6年3月に運用開始した「京丹波町地域SDGs活動プラットフォーム」の京丹波サックスポイントとデジタル地域通貨ポイントを交換できる仕様としており、相互連携することによって関係人口による地域の活性化を推進する。

●協議体制

京丹波町デジタル地域通貨コンソーシアム(会員:商工会、金融機関等)

●事業項目

- ①デジタル地域通貨加入促進業務
- ②加盟店売上負担金
- ③アプリケーション月額利用料他



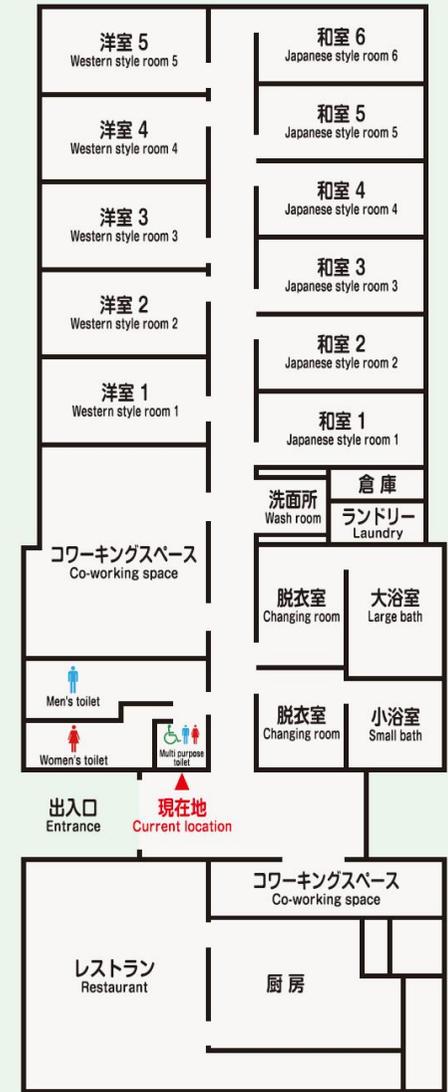


宿泊交流拠点施設「みずほガーデンロッジ」の運用

9,660千円

多様な人材の滞在と交流による地域の活性化に向けて、宿泊交流拠点施設「みずほガーデンロッジ」の運用を行います。

- 施設概要: 宿泊交流拠点施設「みずほガーデンロッジ」
 - ・コワーキングスペース
 - ・洋室5部屋、和室6部屋
- 運用開始: 令和7年9月 予定
- 内容: みずほガーデンロッジでの滞在をきっかけとして、交流イベントによる新たなビジネスの創出や企業研修などを促し、様々な分野の多彩な人材が活躍する拠点として活性化を進め、共に地域の課題解決に繋げる。
- 運営体制: グリーランドみずほ、地域おこし協力隊員 2名(予定) 等



プロモーション戦略推進事業

予算額 17,428千円
(前年度予算額 22,089千円)

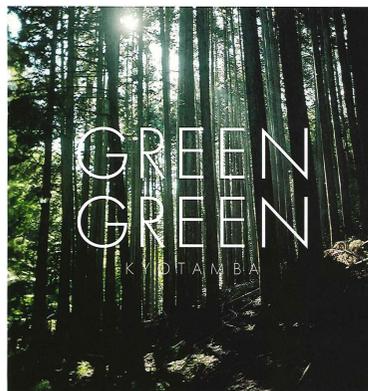


タウンプロモーションアクションプランの実行

12,187千円

プロモーション戦略に基づく、様々な外需獲得(移住者増、観光客増、ふるさと納税増等)に向けた実証的な取組、マーケティングを実施します。

- 実施体制:官民連携プロモーションチームを中心に国内外の大学、地域の関係機関、役場担当課とも連携
- 主な実施事業:クリスマスマーケットの開催(閑散期観光需要の獲得)、「GREEN GREEN SCHOOL」(教育機関と連携したタウンプロモーション)、人材確保プロモーション(雇用者確保)、シビックプライド向上に向けた事業(SNSの活用)、その他時流に応じたプロモーションを迅速に実施。



なぜGREEN GREENなのか？

京丹波の雄大な自然からインスピレーションを得た

GREEN

=自然、健康、成長、
新鮮さ、前向きな姿勢

GREEN GREEN

GREENの意味を強調し、
様々なGREENが存在する多様性と、
こだまのように共鳴していくことを表現。

官民連携組織 Kyotamba Innovation Labの設立



町職員の知恵から自然を借り込み、申請でプロジェクトを進行するにあたっての拠り所となる組織を設立。京丹波町に在りながら町民から受ける支援、タウンプロモーションを推進していくことを目指した。今後、企画・開発・運営、デザイン・制作の連携のもと、全庁的ワークショップを実施した。

町内/町外アンケートの実施



調査・実施担当の観点で、広く町に対するイメージを掴むようにしたアンケートを実施。今後毎年調査することを目的に、町に対するイメージの調査が深まるようにしている。上の図は、アンケートの結果として庁舎に設置された町民の意見もオープンにされた。

from京丹波推進事業

予算額 8,347千円
(前年度予算額 6,211千円)

拡

「FROM京丹波」プロモーション業務

4,021千円

京丹波から生まれた「ヒト・モノ・コト」を「FROM京丹波」とブランディングし、プロモーションを実施します。

●事業内容

- ・飲食店と連携した京丹波フェアの開催、生産者を招いたガラパーティーの開催。
- ・FROM京丹波商材のポップアップを首都圏及び町内道の駅等で展開し、特産品の販売単価の上昇や、流通等の拡大を目指す。



FROM 京丹波 京丹波ブランド事業について

京丹波から発信されたモノ、コトを一つのブランドに集約していくことで、京丹波のイメージ醸成を行っていく運動体。

モノ —— 生産物、加工品、プロダクト、原材料

コト —— 催事、イベント、行事、芸能



京丹波の特産物や加工品にこのラベルを付与し、流通させることにより、「京丹波」の名前を広く一般にも浸透させる。



波鏡は手書きで筆もが描くことができるので、無人販売所や、町内外で個人がサービス展開しているものも「波」京丹波ブランドとして使用できる。



京丹波ファンクラブ事業

予算額 5,077千円
(前年度予算額 3,348千円)

拡

ファンクラブ企画運営

3,300千円

「京丹波のファン」である関係人口と未長く交流の持てる関係を構築するための母体としてファンクラブを運営します。

●事業内容

- ・ファンクラブのインセンティブイベントとして「町内を周遊するスタンプラリー」「宿泊キャンペーン」「ファンミーティング」を実施。
- ・会員の関与を可視化するDXシステムを活用し、関係人口の関係度の見える化を行う。



CLUB 京丹波

京丹波ファンクラブ事業について

京丹波町の魅力ある情報を発信し、「京丹波のファン」と未長く交流の持てる関係を構築しつつ、京丹波町の魅力を多方面に発信してもらうための母体としてファンクラブを創設。

将来的には京丹波町が展開する各種事業の参加状況等を見える化することで、関係人口濃度の計測や参加傾向の分析、関心を認めるものの参加に至っていない事業への参加促進を促すなど、「関係人口プラットフォーム」として機能させることを目指す。

京丹波町はまちの枠を超え、
「想いでつながるコミュニティ」へ



京丹波ファンクラブ
CLUB 京丹波

オリジナル
会員証を
選べる！
つくれる！

会員受付開始!

申請フォームは
こちらから!

想いでつながるコミュニティ推進事業

予算額 1,950千円
(前年度予算額 1,736千円)

拡

コミュニティツーリズム企画運営

1,860千円

「買う」「食べる」「体験する」といった通過型の観光誘客だけでなく、京丹波町のまちづくりへの関わりや継続的な来訪に繋がる関係人口・交流人口を創出する観光コンテンツを造成します。

- 自らのスキルを活かし地域に必要な人材(関係人口)となっていくことを目指す。
- 事業内容
 - ・教育機関や企業と連携し、地域課題解決型教育観光プログラムを軸とした教育観光事業を実施。関係人口の創出を図る。



みんなのまち拠点プロジェクト事業

予算額 9,445千円
(前年度予算額 0千円)

新

公共施設移転に係る調査

9,196千円

複合商業施設の賑わいや地域経済の活性化のため、複合商業施設内への一部公共機能移転に係る調査を実施します。

●事業内容

- ・先進地視察の実施
- ・複合商業施設内への一部公共機能移転調査研究



観光施設管理運営事業

予算額 57,172千円
(前年度予算額 29,039千円)

新

わち山野草の森改修工事

26,004千円

わち山野草の森のトイレ及び案内モニュメントの改修工事を実施します。

・わち山野草の森は、総面積が12ヘクタール、管理道と遊歩道の延長は約2キロメートル、樹木は約180種類、山野草は約720種類を有し、京丹波町の豊かな緑・多彩な植物とのふれあいを通じて植物の豊かさ、大切さを感じることができる、癒しの場としても魅力のある施設。令和8年度に第43回全国都市緑化フェアin京都丹波が京都丹波地域全体で開催され、わち山野草の森は、フェア拠点会場の一つになっており、これを契機に多くの来園者の獲得を目指すべく、快適な施設環境への整備を行う。

<工事概要>

- 管理棟内・園内広場トイレ改修【和風大便器→洋風大便器(ウォシュレット化・ウォームレット化)、トイレブース等含む】
- 案内モニュメント改修【既存4面のリニューアル】
- 着工:令和7年10月 ●完成:令和8年2月末予定



みんなで祝う合併20周年記念事業

予算額 17,404千円
(前年度予算額 0千円)



令和7年度 京丹波町20周年プロジェクト

17,404千円

合併20周年の記念の年を町民と共に祝い、一体感や地域への関心・愛着・誇りの醸成を図るため、記念式典等を実施します。

●実施事業

1. 地域とともに祝う20周年

- ・タウンプロモーションと連携したカウントダウンイベントの開催
- ・記念ロゴ、のぼり、ステッカー等の貸出
- ・20周年地域イベント等活性化負担金 ※ 各地域や実行委員会等への負担金
- ・SNSキャンペーンの実施

2. 20周年記念イベント

- ・官民連携プロモーションチーム「Kyotamba Innovation Lab」による総合プロデュース
- ・既存事業のメモリアルイベント化(ロードレース大会、町民大学等)
- ・「音と食で祝う」記念イベント、全国モンブラン大会の実施

3. 合併20周年記念式典

- ・記念式典の開催
- ・オリジナルグッズ(記念品)等の制作等

●3月4日に、20周年にかかるプレスリリースを予定。



企画情報課 0771-82-3801

新 定額減税補足給付金等支給事業【予算額 3,983万8千円】

令和6年度に実施した定額減税補足給付金事業において、支給額に不足が生じる納税者に対して、不足額を支給します。

新 家庭用防犯カメラ普及支援事業【予算額 220万円】

安全・安心を感じる社会の実現に向け、京丹波町内にある居住用住宅(集合住宅除く)を対象に、犯罪者に対する抑止力として効果がある「家庭用防犯カメラ」の設置費用の一部を補助します。

新 社会福祉施設等に対する物価高騰対策支援事業【予算額 1,434万7千円】

エネルギー、食料価格等の物価高騰の影響を受けた社会福祉施設等が、安定したサービスの提供を行えるよう支援金を交付します。

新 耕種農家緊急支援交付金事業【予算額 870万円】

農業資材費の高止まりが続く中、本町の特産品である黒大豆・小豆の生産継続を支えるため、作付面積に応じた支援金を交付します。

新 畜産農家緊急支援交付金事業【予算額 2,030万1千円】

家畜飼料費の高止まりが続く中、畜産農家の経営継続を支えるため、飼養頭羽数に応じた支援金を交付します。

新 公債費の繰上償還の実施【予算額 2億円】

後年度の財政負担の軽減を図るため、繰上償還を実施します。

一般会計 地方債残高の推移

